

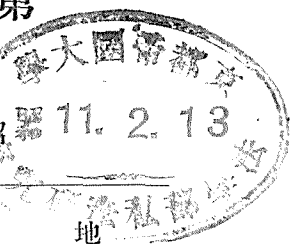
(大正五年四月六日第三種郵便物認可)昭和十一年一月廿五日印刷納本(毎月一回一日發行)

哲 學 研 究

第 二 卷 第 二 册

第 二 百 三 十 九 號

昭和十一年二月一日發行



地域的社會圈としての故郷と郷土

文學士 白井二尚

デカルトの形而上學(承前)……文學士 野田又夫

淨土教思想の中觀哲學的解明……文學士 向田永靜

雜錄、卒業論文題目……

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內

京 都 哲 學 會

前 號 目 次

感情の煩惱的性格……………文學士 佐藤 幸治

知覺形而上學の問題……………文學士 土井虎賀壽

デカルトの形而上學……………文學士 野田 又夫

會 告

一、本會へ入會希望者ハ京都市西洞院七條南内外出版印刷株式會社内京都哲學會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
 一、會員ニテ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務ハ内外出版印刷株式會社内京都哲學會へ御通知被下度候
 一、會費ハ振替口座大阪叁〇六六三番 内外出版印刷株式會社内京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候
 京都帝國大學
 文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

◎ 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版印刷株式會社へ御申込下され度候
 ◎ 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下され度候
 ◎ 振替貯金にて御送金の際は(振替大阪三九三一番東京三九三一番)内外出版印刷株式會社宛に願上候
 ◎ 前金切れの場合に(前金切)の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
 ◎ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

定 價

冊	數	定 價	郵 稅
一冊	冊	金 四 拾 錢	壹 錢
六冊	冊	金 貳 圓 四 拾 錢	不 申
十二冊	冊	金 四 圓 八 拾 錢	不 申

廣 告 料

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

昭和十一年一月廿五日印刷納本
 昭和十一年二月一日發行
 第二百三十九號第二十二卷

京都帝國大學文學部内

不許複製
 禁轉載

編輯者 京都哲學會
 右代表者 服部英次郎
 發行者 須磨勘兵衛
 印刷者 須磨勘兵衛
 須磨勘兵衛
 印刷所 内外出版印刷株式會社

發 行 所

京都市下京區西洞院七條南

内外出版印刷株式會社

本社 京都市下京區西洞院通七條南入
 販賣所 東京市日本橋區室町四丁目 内外出版印刷株式會社

賣捌所 (大阪) 寶文館 北隆館 東京堂 東海堂
 (神戸) 寶文館 上田屋 參文社
 (京都) 共盛社 川瀬書店 大盛社

哲學論文集 第一

哲學體系への企圖

文學博士

西田幾多郎著

菊判三五四頁

クロス装製函入

定價二・三〇送料二一

新刊

此書は西田哲學最近の成果を收め、なほ讀者の理解に資すべく未發表の一篇「圖式的説明」を附したものである。歴史的實在の世界は現代哲學の最も重要な中心問題であるが、これを追求し闡明する博士の強靱なる辯證法的思索は愈々深化すると共に現實性を高める。近來西田哲學に對する社會各方面の關心は著しく増大して來た。惟ふに西田哲學は西洋文化移植後の日本に初めて作られた獨創的哲學であり、東洋古來の思想への全く新たな連繫を含み、將來日本の哲學の傳統の出發點となるべきものである。日本的にして世界的なる思想を求める人々に我々は躊躇なく此書の必讀を勧める。

内容目次 一、世界の自己同一と連續 二、行爲的直觀の立場 圖式

的説明

善の研究 一・八〇

善の思索と體驗 一・八〇

自覺に於ける直觀と反省 三・三〇

意識の問題 二・三〇

藝術と道徳 二・三〇

働くものから見るものへ 三・三〇

一般者の自覺的體系 三・八〇

無の自覺的限定 三・五〇

哲學の根本問題 〇・八〇

哲學の根本問題 續編 〇・八〇

一 辯證法的世界

(大正五年四月六日)昭和十一年一月廿五日印刷納本(毎月一回)第三種郵便物認可(昭和十一年二月一日發行)

哲學研究 第二百三十九號 定價金四拾錢

郵税金壹錢

東京 神田橋 振替 六二四〇 岩波書店